

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせします。

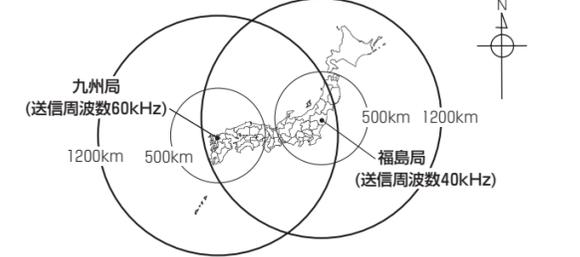
標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、通信総合研究所が運用している電波です。標準時の信号は、通信総合研究所の維持する国家標準により常に高い精度に保たれています。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はかね山標準電波送信所」の2カ所あります。標準電波の詳細については、通信総合研究所のホームページをご覧ください。(http://jjy.crl.go.jp)

電波の受信範囲について

条件のよい時は、送信所から約1200km離れた場所でも受信可能と想定されます。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

表示面に使用している蓄光について

- 蓄光は紫外線を含んだ光(例 蛍光灯)により励起され発光します。白熱電球などは紫外線が少ないため光源としては適していません。
- 発光時間は、60ワット以上の蛍光灯の光を1.5m以内で30分以上直接当てた場合、2〜3時間程度お手元で発光が確認できます。

- 蓄光の特徴として時間の経過とともに明るさが低下します。
- 目視による発光の確認は、視力などの個人差、周囲の明るさ、時計との距離などにより影響を受けます。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合があります。



※受信範囲内であっても、設置場所、時計の向き、地形や建物の影響などの環境条件では受信できない場合があります。
※電波障害により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示することがあります。

製品仕様

時 間 精 度	<ul style="list-style-type: none">標準電波の受信に成功している場合 <p>表示精度: ±1秒</p> 標準電波を受信にできなかった場合 <p>平均月差: ±30秒以内(常温中)</p>
使用温度範囲	−10℃～+50℃(0℃～+40℃ 表示可読範囲)
補 助 電 源	ソーラーにより充電し、1日あたり目覚ましを30秒鳴らした場合の寿命 <ul style="list-style-type: none">1日1時間程度、蛍光灯などの光(電卓などが使える明るさ)を受けた場合　：5年以上
機 能	<ul style="list-style-type: none">時計機能　　：12時間制(午後のみマーク表示) カレンダー付　：西暦(2001～2099年)、月、日、曜日 目覚まし機能　：12時間制(午後のみマーク表示) <p>目覚ましAと目覚ましBの2機能付</p> 目覚まし鳴り時間：約1分間(電子音) スヌーズ機能　：スヌーズ間隔 約4分間 蓄光バックライト：薄いグリーン <ul style="list-style-type: none">アラーム音　　：目覚ましA(4段階) <p>目覚ましB(段階なし)</p> 自動電波受信　：1日4回 最大14分間 <p>4回の自動受信で1回でも成功すればその時から24時間アンテナマークは点灯します</p>

※0℃～+40℃の範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合がありますが、時計精度には影響ありません。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

	この表示は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

静電気による誤作動について

静電気により、内蔵されているマイコンが誤作動し、時刻違いなどが発生することがあります。この場合は、時計裏面にある「リセットボタン」をボールペンなどの先の細いもので押して、現在時刻およびアラーム時刻を再設定し直してください。

■使用場所について

下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。
●温度が+50℃(50度)以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
●温度が−10℃(氷点下10度)以下になる所。(プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。)
●ほこりが多く発生する場所。(空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まることがあります。)
●テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。(磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。)
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●浴室など、湿気の多い所。
●温泉場など、ガスの発生する所。
●多くの油を使用する所。(霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止の原因になります。)
●プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルの上長い間置くと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

■液晶表示板について

液晶には毒性が含まれていますので、破損等でもれた液には直接ふれないようにしてください。

■お手入れについて

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水をやわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

■修理期間について

修理期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について**

この時計の修理用**性能部品**(電子回路)は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、**外装部品**(ケース・文字板等)の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。なお、都合により商品を現品交換させていただく場合もあります。

- 修理可能期間について**

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

- 転居または贈答品の場合**

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

お問い合わせについて

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたら**お客様相談室**にお問い合わせください。

お買い上げの製品に関するお問い合わせにつきましては、この商品の製品番号「**8RZ007**」をお伝えください。

■お客様相談室

フリーダイヤル ☎0120-557-005
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1-299-12

札幌支店 ☎003-0030 札幌市白石区流通センター1-6-2 ☎(011)863-3788
仙台支店 ☎983-0045 仙台市宮城野区宮城野 2-10-36 ☎(022)291-3235
北関東支店 ☎370-0862 高崎市片岡町3-2-12 エコーマンションF ☎(027)322-7892
東京支店 ☎110-0005 台東区上野6-16-22 上野Tビル5F ☎(03)5807-7814
名古屋支店 ☎460-0008 名古屋市中区栄 5-19-31 ☎(052)264-4581
大阪支店 ☎542-0081 大阪市中央区南船場 2-7-30 ☎(06)6264-2388
広島支店 ☎730-0054 広島市中区南千田東町 1-12 ☎(082)244-7774
福岡支店 ☎816-0097 福岡市博多区半道橋 1-11-14 ☎(092)471-5585

所在地・電話番号が変更になることがありますのでご了承ください。
(Y0401)

発売元 **リズム時計工業株式会社**
 本社 〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1-299-12
http://www.rhythm.co.jp

■取扱説明書について

取扱説明書番号 **8RZ007-1**

■電波時計の海外での使用について

■Regarding Overseas Usage of The Radio Wave Clock

This clock is intended for use within Japan. It is not suited for overseas use. Even if the time is adjusted manually, Japan time may still be displayed due to infrequent reception of Japan standard time signals.
This clock can only receive Japan Standard Time signals.

■電波時計の海外での使用について

この製品は日本国内用です。海外での使用には適していません。手動で時刻合わせをして使用していても、まれに日本標準時を受信し、日本の時刻を表示してしまう恐れがあります。

- お買い上げいただきありがとうございます。
- お使いになる前に、この説明書をよくお読みください。
- お読みになった後も、必ず保存してください。

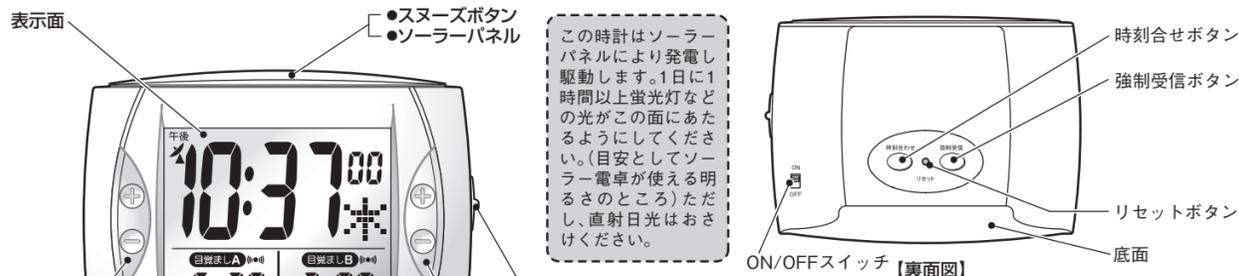
■電波時計の海外での使用について

この製品は日本国内用です。海外での使用には適していません。手動で時刻合わせをして使用していても、まれに日本標準時を受信し、日本の時刻を表示してしまう恐れがあります。

■Regarding Overseas Usage of The Radio Wave Clock
This clock is intended for use within Japan. It is not suited for overseas use. Even if the time is adjusted manually, Japan time may still be displayed due to infrequent reception of Japan standard time signals.
This clock can only receive Japan Standard Time signals.

CITIZENはシチズン時計株式会社の登録商標です。

各部の名称



この時計はソーラーパネルにより発電し駆動します。1日に1時間以上蛍光灯などの光がこの面に当たるようにしてください。(目安としてソーラー電卓が使える明るさのところ)ただし、直射日光はお避けください。

●丸は操作説明用ですので、実際の商品とデザインなどが異なることがあります。

<表示面詳細>

午後のみ「午後」と表示
電波受信マーク
現在時刻表示 (12時間制)

電波受信中表示
曜日または、電波受信波表示

「目覚ましA」表示部及び、目覚まし設定時刻または、カレンダー表示
アラームONマーク

「目覚ましB」表示部及び目覚まし設定時刻または、カレンダー表示

※液晶表示板は下方から見ると(目の位置より上にする)薄くなって見えにくくなります。

特長

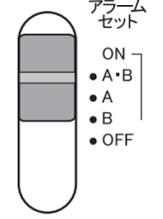
- 「A・B」にセットすると1日2回異なった時刻に目覚ましを鳴らすことができます。
- 「A」または「B」にセットすると、平日・休日等の使い分けができます。

※目覚ましスイッチ4ポイントでの表示内容

- 目覚ましスイッチが「A・B」の状態
- 目覚ましスイッチが「A」の状態
- 目覚ましスイッチが「B」の状態
- 目覚ましスイッチが「切」の状態

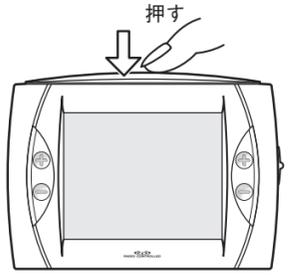
目覚ましの使い方

目覚ましスイッチ(アラームセット)の使い方



スイッチ位置	動作
A・B	目覚ましAと目覚ましBの時刻と(●)マークが表示され、指定時刻の早い順に鳴ります。 ※音を止めるために、目覚ましスイッチを「OFF」にしたあと、「A・B」にスイッチ位置を戻さないと、もう一方の目覚まし時刻になったときにアラームが鳴りません。 ※スヌーズを使用中に、もう一方の目覚まし時刻になった場合、そのアラームが鳴り、スヌーズ機能は後の目覚まし時刻が対象になります。
A	目覚ましAの時刻と(●)マークが表示され、指定時刻に鳴ります。
B	目覚ましBの時刻と(●)マークが表示され、指定時刻に鳴ります。
OFF	目覚ましを使用しない場合、または鳴っている目覚まし音を止めます。

目覚ましを繰り返し鳴らす方法(スヌーズ機能)



- 目覚ましスイッチが「A・B」「A」「B」いずれかの位置の時、(●)が点灯。目覚ましを鳴っている間にSNOOZE(スヌーズ)ボタンを押すと、目覚ましはいったん止まり、約4分後に再び鳴り始めます。(スヌーズ機能)
この操作は繰り返し行なうことができます。スヌーズ中は(●)マークが点滅しています。
- ※スヌーズ操作をしない場合、約1分間鳴った後自動的に停止します。
- ※スヌーズ操作は目覚ましを鳴っているときのみ有効です。
- 目覚ましを完全に止めるときは、目覚ましスイッチを「OFF」にしてください。

※午後のみ「午後」と表示されます。
※再受信中(✕マークなどが点滅している状態)の時は、強制受信ボタンを押して消してください。
※目覚ましセットボタンを押すと「ピッ」と確認音が鳴り、およそ1秒以上押し続けると目覚まし時刻が変更されます。

「目覚ましA」時刻の合わせ方

目覚ましスイッチを「OFF」の位置にし、目覚ましAセットボタンの(+)または(-)を押して合わせます。

(+)または(-)を1回押すと、目覚まし時刻が現れて「ピッ」と鳴ります。
(+)または(-)を押して時刻を合わせます。

「目覚ましB」時刻の合わせ方

目覚ましスイッチを「OFF」の位置にし、目覚ましBセットボタンの(+)または(-)を押して合わせます。

(+)または(-)を1回押すと、目覚まし時刻が現れて「ピッ」と鳴ります。
(+)または(-)を押して時刻を合わせます。

※セット後、目覚ましセットボタンにふれると、合わせた時刻が変更されることがありますのでご注意ください。

時計の使い方

初期設定をして、電波を受信します

- ON/OFFスイッチを「ON」にします。
- リセットボタンをボールペンの先など先の細いもので押して、初期設定を行なってください。
- リセットボタンを押すと、1月1日12:00(午前)を表示し、✕と受信中マークが点滅して、電波受信(自動受信)を開始します。
時計が時刻電波の受信を開始すると、右下に波マークが動き出し、2~14分間で正確な時刻を表示します。

■受信までのプロセス

受信開始 → 電波読取中 → 受信のお知らせ → 受信結果

5秒間ピピッと鳴り、○マーク表示 → ✕マーク点灯:成功
5秒間ピピッと鳴り、×マーク表示 → ✕マーク消灯:失敗

注) 電波を受信中に強制受信ボタンを押すと電波受信がストップし、もう一度押すと電波受信が開始されます。

受信を失敗した場合

窓ぎわなどのできるだけ電波を受信しやすい場所に時計を持っていき、強制受信ボタンを押します。
また、夜間は電波状態が良くなりますので、一晩中そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

※上記操作でも受信できなかった場合は、右記の「電波を受信できない場合」をご覧ください。

電波を受信できない場合

■手動での時刻セット方法

※この場合の精度は月差は±30秒以内になります。

※✕と受信中マークが点滅している時は、手動操作ができません。手動操作をする場合は、強制受信ボタンを押して消してください。

※アラームが鳴っているまたはスヌーズ動作しているときには設定できません。目覚ましスイッチを「OFF」にしてから操作してください。

設定操作での目覚ましセットボタン(+)(-)の使い方

年、月日および時刻を合わせるときに使用します。

⊕: 押してすぐ離すと、数値が1つ進む
⊖: 押してすぐ離すと、数値が1つ戻る
※ボタンを押し続けると早送りします。

目覚ましAセットボタン または 目覚ましBセットボタン

1 「年(西暦)」を合わせます

①時刻合わせボタンを1回押すと、「年(西暦)」が点滅します。

②⊕または⊖を押して合わせます。

2 「月と日」を合わせます

①「年」を合わせた後、時刻合わせボタンを1回押すと、「月と日」が点滅します。

②⊕または⊖を押して合わせます。

※曜日は自動設定されます。

3 「時と分」の合わせます

①「月と日」を合わせた後、時刻合わせボタンを1回押すと、「時と分」が点滅します。

②⊕または⊖を押して合わせます。

※午後のみ「午後」と表示されます。
※目覚ましAまたはBセットボタンが押されるたびに0秒になります。

4 通常表示に戻します

カレンダーと現在時刻合わせが完了したら、時刻合わせボタンを1回押して、通常表示(秒のみが動いている状態)に戻してください。

※通常表示に戻さないと、目覚まし合わせや強制受信および自動受信ができなくなります。

こんなときには

Q 波マークが小さいまたは表示されない。
A 標準電波を受信できる環境にないことを表しています。
対策 次のようなことを試してください。
1. 窓の側など比較的電波の届きやすいところで試してみる。(場所により、電波の状態が変わります)
2. 朝夕および雨天など電波が弱まる時を避けて試してみる。(時間帯や天候によっても電波の状態が変わります)

Q ときどき✕と受信中マークが点滅する。
A 1日に4回自動受信し時刻修正をする間に表示されます。

Q ✕マークが消えた。
A 標準電波を受信した後、24時間以上受信に成功しなかったことを意味します。もう1度受信すると復帰します。マークが消えてもクオーツ精度で時計は動いています。

Q ✕マークが後日表示された。
A 最初は✕マークが表示されなくても、後に再受信に成功すると表示されます。

Q 受信できてテレビやラジオ、電話の時報サービスと一致しない。
A まれに誤受信や時計の修正タイミングにより一致しないことがあります。
対策1. 1秒くらいの進み、遅れの場合は、そのままでも後に自動修正されますが、すぐに修正したい時は強制受信ボタンを押してください。
対策2. 1秒を超える進み、遅れの場合は、リセットボタンを押して操作をやり直してください。

Q 今まで受信できていたのに、急に受信できなくなった。
A 標準電波を送信している設備の定期点検や落雷などの影響で停波(送信停止)することがあります。停波に関する情報は「通信総合研究所」のホームページに掲載されています。
ホームページアドレス <http://jjy.crl.go.jp>

Q 目覚ましセットした時刻に鳴らない。
A 目覚まし時刻または現在時刻の午前と午後が逆になっていませんか?
この時計は12時間制で午後のみ「午後」と表示されます。午前と午後が逆になっている場合は、目覚ましセットボタンを押して再セットしてください。

Q 目覚ましが1日に2度鳴るまたは1度だけ鳴らしたい。
A 目覚ましスイッチで「A」または「B」を選ぶと、その時刻だけ目覚ましを鳴ります。

Q 目覚ましはどれくらい鳴り続けるのか?
A 目覚ましは約1分間鳴ると自動的に止まります。

Q 目覚ましの音を聞きたい。
A AとBの目覚まし音は異なります。目覚ましスイッチを「A」または「B」にし、目覚ましセットボタンを押して目覚まし時刻を現在時刻に合わせます。時刻が合うと、その目覚まし音が鳴ります。

Q 電波を受信できていなくても、目覚ましは鳴るのか?
A 電波を受信できていなくても、クオーツ精度で時計は動いていますので、セットされた時刻に鳴ります。

Q リセットボタンと強制受信ボタンの違いは?
A リセットボタンは初期設定を行なう時、誤表示をした時、全てのデータをクリアする時に押します。
強制受信ボタンは、電波のみを再受信する時に押します。(この場合、セットした目覚まし時刻は保持されています。)